

新津地区公民館運営審議会会議概要

新津地区公民館

| | | | |
|---|--|-----|----|
| 実施年月日 | 第6期 第1回 新津地区公民館運営審議会 平成29年6月23日(金)実施 | | |
| 会場 | 新津地区公民館 304 研修室 | 傍聴人 | 0人 |
| 出席者 (委員) | 伊藤愛子、大泉直美、川瀬雅司(副議長)、相馬真紀子、中川陽一、皆川美穂子、 渡辺和典(議長) [敬称略] | | |
| 出席者 (事務局) | 新津地区公民館：江田孝志(館長)、小出守仁(主任)、渡辺ゆかり、佐藤恵子、 堺葉子 小須戸地区公民館：櫛谷敏行(館長)、渡辺昌子 | | |
| 議題 | (1) 平成28年度事業報告について * 事業評価シート (2) 平成29年度事業計画(案)について * 平成29年度新潟市公民館事業の基本方針 (3) その他 | | |
| 審議された議題について、以下に記載する。 | | | |
| <p>1. 開会 館長あいさつ</p> <p>2. 正副議長の選任について 互選により、議長に渡辺和典委員を、副議長に川瀬雅司委員を選任。</p> <p>3. 議事 (1) 平成28年度事業報告について 新津地区公民館(説明者：小出) 小須戸地区公民館(説明者：渡辺)</p> <p>— 質疑応答等 — (渡辺議長) 新津地区公民館と小須戸地区公民館から、スライドショーで報告していただきました。感想や内容等ご質問がありましたらお願いします。どちらの公民館でもけっこうです。非常に分かりやすく、内容もつかみやすかったと思います。いかがですか。 (皆川委員) スライドで見せていただき、分かりやすくお示しいただいたと思いましたが、公民館はいろいろな世代の方たちにかかわってくださっているなと思います。いろいろな分野で、これからも地域力を与えるような事業に取り組んでいただければ大変ありがたいと思っています。 (渡辺議長) 確かにいろいろな年代層が、いろいろな形で参加しているということが分かりました。</p> | | | |

(相馬委員)

新津地区公民館のNo.2のコミュニティ活動活性化支援事業で「荻川 インターネット・スマホ活用講演会」は、当初、事業計画になかった事業ですが、コミュニティ協議会の協力もあるようですけれども、これは公民館側からの事業提案でしょうか。

もう1点。対象はどなたでしょうか。夜間での実施となっていますけれども、一般の方が対象なのか、それとも中学生が対象なのか、教えてください。

(新津地区公民館長)

公民館が重点に行う事業の中で地域コミュニティ活動の活性化を支援するというのが一つ大きなテーマとしてあります。区内にはコミュニティ協議会がたくさんありますが、なかなか一緒に活動ができていなかったもので、荻川は活発に活動しているコミ協だったこともあり、何か一緒にやりませんかという声かけを公民館からさせていただきました。毎年、荻川コミュニティ協議会では講演会などをやっていますが、内容等どんなものかいいか行き詰まってきた、あるいは講師を探すのがなかなか難しいといった話もあり、その辺で協力できるのならということで、内容など一緒に協議しながら、講師は公民館で交渉させていただき、昨年、一緒に実施することができました。

対象は荻川コミュニティ協議会が主催なので、地元の住民の方々と、スマホを扱っている方、中学生くらいになると皆さんスマホを持っていますし、小学生でもいいし、保護者が来たり、おじいちゃん、おばあちゃんですスマホを始めた方もいらっしゃるもので、そういう方々を対象に、教育コーディネーターさんを通じて保護者等へチラシを配布させていただきました。

(渡辺議長)

ほかにいかがでしょうか。

小須戸地区公民館の6「現代的課題を探り、解決を支援する事業」の「現代的課題」と、No.14、No.15、No.16の中身、陶芸、苔玉、書道教室、絵手紙と。この課題と事業名のつながりといいますか、「現代的課題」とどうつながるのかと思い、お聞きしたいと思います。

(小須戸地区公民館長)

現代的な課題というよりは、例えばSNSなど、昔はなかったようなこと、もう少し広い観点で、小須戸という地域での課題ではないのですが、タイムリーなものをやろうということで、この三つをやっています。例えば書道教室というのは非常にありふれていますが、非常に人気が高いです。小須戸だけなのか分からないのですが、いつも、来年もという方が出るくらい人気があります。

(川瀬委員)

内容ではありませんが、両公民館ともに参加者数が書いてありますが、できればここに、定員のあるものに対しては募集数も書いてもらいたいのです。例えば20人の定員に10人しか来なかったとかということが分かるようにしてもらえたらいいと思います。

(渡辺議長)

募集人数と、実際に参加した方を比較できるようにということですね。ありがとうございます。

ほかにありませんか。特になければ次に進みます。

次に、事業評価シートについて、事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

資料1-3と資料1-4になります。昨年の全事業を集約し評価したものです。資料1-3が新津地区公民館、資料1-4が小須戸地区公民館の評価シートです。このシートは、単一事業ごとに1次評価を行い、そして館ごとの2次評価を行うもので、新潟市公民館事業方針による重点事業ごとの評価、先ほどの大きな表でいうところの1番から6番にかかわってくるものでまとめてあります。先ほどのスライドショーなども参考に、平成28年度の事業について、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

(新津地区公民館長)

評価シートは分かりにくいと思うのですが、みなさん継続の委員なので、去年も見ていると思います。先ほどスライドをお見せしましたが、それぞれ細かい事業があり、それぞれの評価もあるのですが、個別の評価はここに記載はしていません。例えば新津の重点項目1、コミュニティ活動の活性化を支援する事業ですが、その中で金津のゴスペル関係の事業、インターネット・スマホ活用講演会、コミュニティビジネス入門編等、重点項目の中の括りとして実施しています。一番下に、反省点を挙げさせていただいて、評価という流れになっています。先ほどのスライドだけでは、各事業の中身等がつかめないところもあるかと思いますが、各評価へのご意見をいただきたいと思っています。

(渡辺議長)

事業評価についていかがですか。先ほどのスライドショーなど、具体的なイメージを含めてどうでしょう。

(皆川委員)

小須戸地区公民館の家庭の教育力の向上の支援ですが、有効性として、「開催日が違っていたらもう少し参加者が増えたと思われる」ということですが、今年度、すでに終わっている事業でもあるのですけれど、例えば開催日もそうですし、会場などを変えていくとか、そういったことができないものかと。

(小須戸地区公民館長)

開催日が違っていたらというのは、ちょうど冬場の開催で風邪で休まれた方が何人かいらっしまったので、そういうことを言っています。今年度はすでに終わっていて、昨年と同じ会場で継続して実施しましたが、今後は別なところをあたってみようという話にはなっています。しかし、相手側がそういう必要性を感じてくれているか、あるいは学校側の年間スケジュールと合うかどうか、その辺の問題はあります。たまたま幼稚園は理解が深く、続けてやっていただきました。

(皆川委員)

昨年も含めて、幼稚園をお借りして実施してもらいましたが、以前「まちづくりセンター」はなかなか開催するのが難しいという話がありましたので、例えば「ふれあい会館」などの活用も検討していただいたほうがいいかと。どうしても幼稚園は時間や人数が限られてしまうところがありますし、参加者がいつも限られているので、それも含めてご検討いただけるとありがたいと思います。

(小須戸地区公民館長)

今年、思ったよりも人数が少なかったということもありますので、来年に向けて、職員で話し合いをしていきたいと思います。

(中川委員)

新津地区公民館の重点1、2のところ、館長の評価でAがついている事業があるわけですが、具体的にはどの事業を指しているのか、教えていただきたいと思います。

(新津地区公民館長)

新津でAがそれぞれ一つずつついています。重点項目の六つの中で特に力を入れているのは1番、2番、3番になります。3の家庭教育のところはAはありませが、力を入れていないというわけではありません。1でAを入れたのは、「コミュニティビジネス入門編」で、平成28年度初めてやった事業です。拡大とはなっていますが、どんどん広げていくということではなく、そこに力を入れていくという意味でAをつけています。後ほど平成29年度のところでお話しすると思いますが、今年は実践編、一步進めたような形の講座を考えています。

2番目の学・社・民ですが、これにも力を入れています。Aをつけたのは、「地域交流事業」です。各小学校や中学校での出前講座で、学校に地域の人から入ってもらい、学校を地域の学びの場にして、地域を盛り上げていきたいという意味から、「地域交流事業」についてはAをつけています。学校はいろいろなところに行かせていただいています。まだまだ連携できていない学校もあるので、そういった意味でAをつけています。

(川瀬委員)

新津地区公民館の重点の5番、高齢者の学習や社会参加を支援する事業ですが、非常にいいコメントが書かれているのに、全部評点が2.5と3.5、若干低めなのは、何が理由なのでしょう。

(新津地区公民館長)

この評点は、担当者の評価になりますが、そこに書いてあるとおり、これはとても人気のある事業なのですが、講師も同じ方が長年やっていて、担当者的には、必要性はあるのだけでも、中身を見直したいなどの思いがあって、評点が若干低くなっています。改善点にも書かれていますけれども、少し見直していきたいという思いからです。

(川瀬委員)

結局、二つの事業で2.5が出るということは、どちらかが2ということですね。恐らく2と3だと思うので、どちらかが2であるということは、やや不十分という感想が出たと思うのですが。

(新津地区公民館長)

この、「あきは自然観察会(春夏編)」というのは今まで同じ講師でやってきて、それはそれで人気があって続けたい事業なのですが、秋編は、今回、試行的に中身を見直して、今までは秋葉丘陵で植物観察をメインでやっているのが春夏編だったのですが、別の方に講師をお願いして、たまたま今回はきのこ観察をやってみたと。参加した方も今までとは違う方が多く、今までどおりではなくて、ほかの内容でも大丈夫だということで、実験的にやったものですから、来年はしないということで、秋編の評点は下がっています。そういったこともあって、全体的

に下がっています。平成 29 年度事業計画には、秋編は載っていません。

(渡辺議長)

ほかにいかがですか。

いろいろとご意見をありがとうございました。それでは、今ほどいただいた意見などを勘案いたしまして、運営審議会委員意見という空欄があるのですが、今、意見を伺った中で、事務局と議長、副議長でまとめる形になるのでしょうか。これは全員がということではないのですか。

(新津地区公民館長)

全員からいただいてもけっこうですが、集約が大変になるのではと…

(渡辺議長)

そういうことであれば、こちらでまとめさせていただきます。

ありがとうございました。(1) 議事・報告事項については、これで終わらせていただきます。次に、平成 29 年度事業計画(案)について、事務局からお願いします。

(2) 平成 29 年度事業計画(案)について

新津地区公民館(説明者: 江田、小出)

小須戸地区公民館(説明者: 櫛谷)

— 質疑応答等 —

(渡辺議長)

平成 29 年度のそれぞれの事業についてお話がありましたが、全く新規というものもいくつかありました。そのようなものを含めご意見、ご質問等いただきたいと思います。

私からお聞きしたいのですが、小須戸地区の場合は山の手コミュニティ協議会と小須戸コミュニティ協議会の二つのコミュニティ協議会があり、秋葉区は合わせて 11 のコミュニティ協議会がある中で、今申し上げた二つを除くと、その他九つのコミュニティ協議会があるわけです。地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業が重点化されているのですが、これはある程度見通しを立てて、順番にコミュニティ協議会に事業を持っていくということなのか、あるいは申し出があって動いていくのか。その辺をお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。

(新津地区公民館長)

新津地区は 9 コミュニティ協議会があります。本来であれば全部のコミュニティ協議会を回って、いろいろとご意見をお伺いしたいところなのですが、回り切れていないところがあります。小学校はほぼ全校回らせていただいたり、中学校は全部ではないのですけれども、それぞれ担当者で回って、一緒にやりませんかといったお話をさせていただいています。関係ができ始めてきた金津コミュニティ協議会や新関コミュニティ協議会。また、阿賀浦コミュニティ協議会は公民館の中で事務所を構えていて、ある程度関係はありましたが、今年ようやく一緒に事業ができるようになりましたし、荻川コミュニティ協議会も一昨年くらいから。ほかのコミュニティ協議会とも、例えば地区懇談会などで会長にお会いするような機会もあるので、できるかぎり PR をさせていただきたいと思っています。

(渡辺議長)

偏らないで、全体を回るとよろしいのではないかと思います。

(新津地区公民館長)

チラシの配布などをお願いするときなどにも、何かあれば公民館にご相談くださいという話をしてくるのですが、コミュニティ協議会もそれぞれ独自の活動で忙しいということもあるようです。

(相馬委員)

新津地区公民館と小須戸地区公民館の事業を見比べていましたら、職員数の違いもあるのでしょうけれども、小須戸地区公民館は、2番、3番は事業数が少ないので、2番、3番の力の入れ方が少ないのではないかと少し残念に思います。前年度事業の踏襲や、趣味の講座…、趣味の講座も自主的なサークル活動につながればいいのですが、もう少し人づくりに重点を置いた事業があってもいいのではないかと思います。特に家庭教育の事業は小須戸地区では少ないので、残念に思っていました。

(小須戸地区公民館長)

家庭教育あるいは学・社・民の融合の事業が少ないというご意見かと思えます。確かに数は少ないですが、「新津南高校開放講座」は30年の歴史があります。高校の先生方から協力いただいている事業というのはほかにはありません。学・社・民というとらえ方をすれば、例えば今回の「子ども人権講演会」も学・社・民というとらえ方もできると思います。これは、重点化の六つの区分の仕方であり、内容がいくつも重なった部分があるので、一概に比較できないと思っています。家庭教育については、2回のうちの一つ終わって、来年の1月に、今年是小須戸小学校と話を進めている最中です。新津は連続講座という形でやっていますが、小須戸は人口規模が違いすぎるということ、また、その世代の需要が少ないといったことから、こういった講演会形式で試行的にやっています。もし、これがうまくいかなければ、元に戻すこともできますし、将来的にどうするかはまだ分かりません。予算的な制約もあることはありますが。

(新津地区公民館長)

秋葉区全体として考えていただければ。職員数が違いますので、新津と同じ回数ができる体制ではありません。家庭教育についても、去年あたりは保育室の関係など、いろいろ理由があって今までとはやり方を変えています。家庭教育に力を入れていないというわけではなく、秋葉区全体で、新津であれば小須戸の人もすぐ来られるといった話もあり、そういった意味で、小須戸では形式を変えてやっています。逆に、新津でやっていないような事業を小須戸にお願いしたりしているものもあります。今回、「子どもの人権講座」なども、新津では無理なので小須戸にやってもらえますかということをお願いしました。学・社・民も、どうしても学校の数が小須戸と新津では差がありますし、お互いにカバーしあっていきたいと思っています。

(川瀬委員)

前回会議の議事録が載っているのですけれども、新津地区公民館のコミュニティビジネスは回数5回にすると出ていますけれども、今回は3回になっていて、議事録を読むと、たしか予算の関係で3回に縮小するかもしれないという話が出ていたのですが、回数は3回になるのですか。

(新津地区公民館長)

まだ決まっていません。予算の関係になりますが、実際に3回では不十分だと思っていますので、講師料等も含め交渉中のような状況です。

(川瀬委員)

回数も検討と。

(新津地区公民館長)

そうです。

(渡辺議長)

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

いろいろな話でしたが、取り入れられるところは取り入れていただいて、回数の件もありますが、検討されて、いい事業になるようお願いしたいと思います。

それでは、平成29年度事業計画(案)は以上で終わらせていただきます。

(3) その他

「その他」として、事務局からお願いします。

(新津地区公民館長)

1点報告です。このたび県の公民館連合の永年勤続表彰で、新津地区公民館から、運営審議会委員として川瀬副議長、今日、ご欠席の中島委員のお二人が10年勤続ということで表彰を受けられました。表彰式は7月14日に、見附市で開催される県の公民館大会で行われます。お二人とも、ご都合が悪く表彰式は欠席になりますが、ご報告させていただきます。

(渡辺議長)

今、お話しのように、永年勤続表彰ということで、川瀬委員と中島委員が受けられるということです。誠におめでとうございます。

皆様からほかにごありますか。よろしいですか。

特になければ、以上で議事を終了させていただきます。

事務局にお返ししたいと思います。

4. 閉会

副議長あいさつ